

事案名	小松島市の事案（徳島県36-3）
分類	生産・保有 その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「各航空廠引渡目録」2 / 2〔1〕 ・『日本海軍史』第11巻〔2〕 ・「基地紹介 小松島」『おやばと』平成10年2月10日〔3〕
資料内容概要	<p>終戦時、第11海軍航空廠岩国支廠（小松島）には、60kg 1号爆弾が保有されていた。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終戦時に、第11海軍航空廠岩国支廠小松島には、60kg 1号爆弾を保有していたが、その数量は出典資料の文字が不鮮明なため判読できない〔1〕。 <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第11海軍航空廠小松島補給工場は、徳島県内に存在していたとされる〔2〕。 ・小松島には、昭和16年10月1日に、呉海軍鎮守府の隷下として小松島海軍航空隊が発足し、水上機や偵察機の訓練を行った。そして昭和19年12月15日に第903海軍航空隊に統合され、実戦部隊となった〔3〕。